

こもれびの森 通信 4 月号

2016

発行

宮城県こもれびの森 森林科学館
〒987-2512 宮城県栗原市花山草木沢角間 10-7

TEL&FAX 0228-56-2330
http://mifi.main.jp/komorebi.htm



オープンです!!



昨年12月より、冬期休館中でしたが、4月1日より開館いたしました。例年になく雪が少なく、開館作業はスムーズでした。

今年度も、イベントのほかにネイチャークラフトや、季節に応じた展示なども用意しておりますので、皆様お誘いの上ご来館していただくようお願い申し上げます。

平成28年度こもれびの森「ウッドランドクラブ」スケジュール

| | | | |
|-----------------------------|--------------------------------|--|------------------------------|
| 4月24日(日) 早春の自然観察と巣箱づくり | 5月22日(日) 山野草観察と石窯でピザを焼いてみよう | 6月5日(日) カブトムシの飼育講座 | 7月31日(日) 川遊びと自然観察 |
| 8月7日(日) 川遊びと夏休みの工作を楽しもう | 9月25日(日) 初秋の自然観察とお茶会 | 10月2日(日) バッチワークに挑戦 | 10月16日(日) 秋を満喫 きのこ観察ときのこ鍋 |
| 10月30日(日) 一松山の散策と紅葉を楽しもう | 11月13日(日) クズの蔓(ツル)でかご編みに挑戦 | ・参加ご希望の方は電話でお申し込み下さい。 ・募集人数:各回30名程度 ・参加費:小学生以上600円 | |

こもれびの森のかわいいことりたち

こもれびの森サポーターで専属ことりカメラマン(?)の太友さんのコーナーです

“子育てが始まりました”

春を待ちわびていたヤマガラが園内の巣箱に巣作りです。

巣箱をたたく音で気付きました。巣を作るのは雌です。ミスゴケや獣毛を使います。オスが好物のエゴノキの実をプレゼントにきました。近くの枝にヒガラが来るとオスが追い払います。巣箱の中にいるメスにエサを運ぶ様子も見られます。

巣立つ日を楽しみにしてビデオ撮影を続けます。(太友)



①ミスゴケを運ぶ



②獣毛を運ぶ



③実をプレゼント

ミツケ! こもれびの森

こもれびの森でみつけたよ

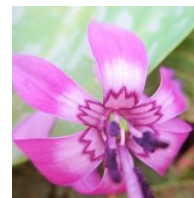
“カタクリの人相”

「ミスバショウ」や「キクザキイチゲ」とともに「カタクリ」の花も4月中旬に満開を迎えました。園内で自然のままに自生する「カタクリ」は、なかなか可憐な趣があります。「カタクリ」は、典型的な「スプリング・エフェメラル」(春の妖精)で、早春のみ姿をあらわします。その後は地上部は全く姿を消します。落葉樹が葉を落とし、日の光が十分当たる時期だけ葉を広げるという作戦です。確かに生育場所は、落葉広葉樹林の林床や林縁に多くみられます。

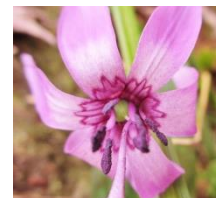
さて、この「カタクリ」ですが、花の内側に模様があります。まるで「入れ墨」のような不思議な模様です。この模様は花によって微妙に異なり、人間で言えば「人相」のような感じになっています。科学館にご来館の折には、是非、「カタクリ」の花の内側にも注目して観察なされたいかがでしょうか?



①カタクリA



②カタクリB



③カタクリC

山のことなら何でもプロ級、サポーターの(は)さんのコーナー

まめちしぎコーナー “花や木などのチョットした知識”

～現代のお花見～「ソメイヨシノ」

お花見の季節となりました。桜といえば「ソメイヨシノ」ですが、ソメイヨシノは江戸時代後期、江戸の染井村で交配によって作り出された園芸品種です。「ソメイヨシノ」同士では種子ができないため、すべて「接ぎ木」などにより200年以上かけて増やしたものです。このため、日本全国の「ソメイヨシノ」は同じ性格(DNA)を持ちます。つまり、元をたどれば何本かの原木に行き着くという桜です。

桜前線で「ソメイヨシノ」が用いられるのは、同じDNAであることから、より正確に開花予想ができるためで、「気象レーダー植物」となっています。

ソメイヨシノ登場以前は、サクラといえば山野に自生する桜を眺めるのが「お花見」だったと思われれます。「ヤマザクラ」・「オオヤマザクラ」・「カスミザクラ」などボーっと眺めて、花期の遅い「ウワミズザクラ」まで、お花見の期間は相当長いものであったはず。花色の移り変わりや葉の色など、じっくり楽しむことができたでしょう。忙しい現代人にとっては、一斉に咲き、一斉に散るサクラのほうがピッタリ合っているのでしょうか…。(千葉)



＜夕日を浴びるソメイヨシノ＞

イベント案内

5月のウッドランドクラブのイベントは、22日(日)「山野草観察と石窯でピザを焼いてみよう」です。新緑が最も美しくさわやかな「一松山」に入り、自然観察を楽しみます。そのあとは、参加者の皆さんそろって焼きたてのピザをかじります。植物が苦手な子供たちでもピザは大好きなようです・・・ご参加をお待ちしております。(森林科学館広報担当より)

＜昨年の様子＞

